

「丹波市地球温暖化対策実行計画」

∞平成 22 年度 進捗状況報告（平成 21 年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成 19 年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」は、温室効果ガス排出量並びに実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガス排出の抑制を行うことで、地球温暖化対策の推進に取り組んでいくことを目的としています。

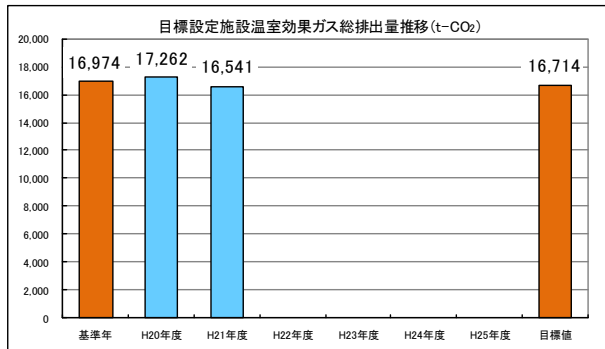
☆ 計画の概要 ☆

- 計画の基準年：平成 19 年度
- 実行計画期間：平成 21 年度～平成 25 年度（5 年間）
- 調査対象施設：庁舎を含めた公共施設
- 計画対象温室効果ガス：CO₂（二酸化炭素）、CH₄（メタン）、N₂O（一酸化二窒素）、HFC（ハイドロフルオロカーボン類）
- 基準年の温室効果ガス排出量：16,974 t
- 温室効果ガス削減目標：1.5%（目標排出量 16,714 t）

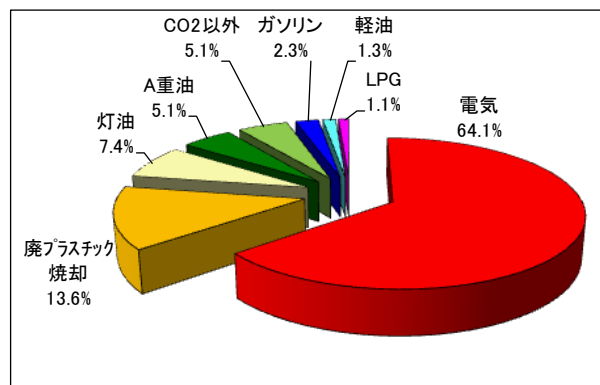
☆ 平成 21 年度温室効果ガス排出状況 ☆

- 平成 21 年度の温室効果ガス排出量は 16,541 t となり、基準年の排出量に対して 2.5%（約 433 t）削減しました。
- 温室効果ガス排出源構成では、電気使用による排出量が全体の 64.1%を占めています。
- 排出源別温室効果ガス排出量の増減状況は、A 重油、LPG および廃プラスチック焼却による排出量は増加していますが、ガソリン、軽油、灯油、電気および CO₂ 以外の温室効果ガス*による排出量は減少しています。
- 排出量の減少の要因としては、職員の取組の成果により廃プラスチック焼却以外の排出源が基準年の排出量に対して 4.3%（約 645 t）削減したことです。しかし、クリーンセンターでの廃プラスチック焼却量が基準年の排出量に対して 10.4%（約 212 t）増加しています。

● 温室効果ガス排出量推移



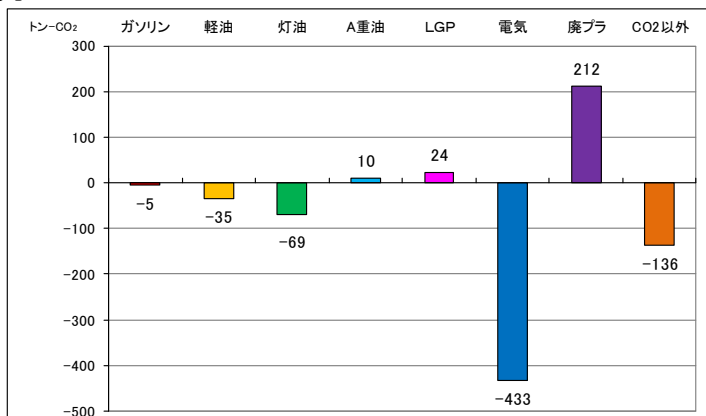
● 温室効果ガス排出源構成



※CO₂ 以外の温室効果ガスとはメタン (CH₄)・一酸化二窒素 (N₂O)・ハイドロフルオロカーボン類 (HFC) です。
また、このガスの排出源は、し尿処理や浄化槽、公用車の走行やカーエアコンからの冷媒漏えい等によります。

● 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

項目		平成19年度 (基準年)	平成21年度	
		排出量	排出量	基準年 対比
燃料	ガソリン	391	386	-1.3%
	軽油	250	215	-13.9%
	灯油	1,290	1,221	-5.4%
	A 重油	839	849	1.2%
	LPG	151	175	15.6%
電気		11,037	10,604	-3.9%
廃プラスチック焼却		2,038	2,250	10.4%
CO ₂ 以外の温室効果ガス		976	840	-14.0%
温室効果ガス全体		16,974	16,541	-2.5%



☆ 温室効果ガス削減に向けての今後の課題 ☆

平成 21 年度の丹波市の温室効果ガス排出量は 16,541 t となり、基準年の排出量に対して 2.5%（約 433 t）削減し、現状では削減目標の 1.5%を上回る結果となりました。しかし、廃プラスチック焼却量が基準年の排出量に対して 10.4%増加していることから、温室効果ガス削減に向けての今後の課題として、市の職員の取組の継続並びに廃プラスチック焼却量の削減に向けた取組が必要となります。廃プラスチック焼却量の削減には、市民の皆様方にごみの減量化及びごみの分別・リサイクルの推進に御協力を頂くとともに、市内の各公共施設でもごみの排出時にはごみの分別の徹底を強化する等、一人ひとりの意識を高めていくことが今後の課題となります。